



第44回 ジャパンウィーク®2019

ギリシャ・アテネ

2019年11月23 (土)～ 28日 (木)





ご挨拶

オリンピックの発祥の地ギリシャの首都アテネに於いてギリシャで初めてのジャパンウィークが開催されました。アテネは1983年、当時のギリシャのメリナ・メルクーリ文化大臣が提唱した欧州文化都市（現欧州文化首都）に1985年に最初に指定された都市で、ジャパンウィークが当時の欧州文化都市をヒント、きっかけとして企画され、これまで開催されてきた歴史を考えると深い因縁を感じるとともに、三十有余年の時を経てこのような縁のある街で、日本・ギリシャ修好120周年の記念すべき節目の年に日本の伝統芸能、文化の紹介を通して、アテネ市の皆様と草の根レベルの文化交流が出来た事は非常に感慨深いものがあります。

おかげさまで第44回ジャパンウィーク2019年ギリシャ・アテネは11月23日から28日までの6日間、参加87団体、約1,300人の参加者をお迎えし、約24,000名の来場者にお越しいただき無事終了する事が出来ました。

本年は東京オリンピック・パラリンピックの年、今回のジャパンウィークを契機に益々両国間の国際交流、相互理解の促進の一助となれば幸いです。

イベント概要

開催地 ギリシャ共和国・アテネ市

開催期間 2019年11月23日（土）～11月28日（木）6日間

開催規模 日本側参加者1,311人 ギリシャ側参加者3人 ギリシャ側見学者24,000人

主催 公益財団法人 国際親善協会

開催国側主催 ギリシャ共和国・アテネ市

協力 ギリシャ日本協会

後援 在ギリシャ日本国大使館、国土交通省、文部科学省、農林水産省、ギリシャ観光省、駐日ギリシャ大使館、ギリシャ政府観光局、日本政府観光局（JNTO）、独立行政法人国際交流基金、日本貿易振興機構（JETRO）、一般財団法人自治体国際化協会、一般財団法人地域伝統芸能活用センター、一般社団法人日本海外協会

助成 公益財団法人 双日国際交流財団

協賛 日本航空株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社みずほ銀行、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行

参加団体一覧

北海道	花魁オハナ 小原流 札幌支部	静岡県	専門学校ルネサンス・デザインアカデミー 煎茶道 静風流
岩手県	三本柳さんさ踊り保存会 一般社団法人awa酒協会	愛知県	太鼓衆 翔鼓 金城学院大学 書道部 愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ Fly-N 現代創作版画 集団 E-JAN アート集団 チームNaMo A-EBIFURYa-
宮城県	オッジ・ドマーニ・ヒロシ	滋賀県	湖南旭城会
茨城県	楽知会	京都府	同志社大学よさこいサークル よさ朗 京都大学津軽三味線サークル 京炎そでふれ！華羅紅 京都大学キャップ投げ倶楽部
栃木県	岩橋知子押し花教室 和育三竹堂	大阪府	伝統芸能杉本組 京炎そでふれ！咲産華 永田独歩ケーナ演奏会 踏匠嬢 アトリ工柱[Kei] 古色の美
埼玉県	齋藤よう子バレエ・スタジオ 一般社団法人 埼玉県物産観光協会 大宮シンフォニーオーケストラ ORIENTARHYTHM 長沼静きもの学院熊谷校 祥華算命 Shokasanmei 三郷市	兵庫県	京炎そでふれ！京小町 流通科学大学 和太鼓部 燿窯陶芸倶楽部 関西学院大学絵画部弦月会
千葉県	龍史 & 七色のスリッパ Classic Ballet Coppelia 陶貴の会	鳥取県	KEIKO* 萬桂
東京都	ギリシャダンス “ケフィ” きものレディ着付学院 職業訓練法人 全日本婚礼美容家協会 REIKO & NAOMI 剣伎衆かむみ 小林未郁 よさこい屋-Yosakoiers of JAPAN- 株式会社アートクロス 中西裕人写真事務所 フローラルスペース双栴 赤坂なでしこ会 おりがみ (苑子くらぶ) 池依 依依 松和会	岡山県	茶道裏千家岡山桃花会
神奈川県	関東学院大学”誇咲”	広島県	アンサンブル広島 特定非営利活動法人 I PRAY
新潟県	墨遊小路の会	香川県	藤登会
石川県	星稜大学スターブルージャズバンド 嵯峨御流華道北陸司所	愛媛県	松山大学書道部「南風会」
福井県	福井おむすび同好会 藤工芸の会 創作和人形とちりめん細工物の会	高知県	花工房 美呂
岐阜県	岐阜大学 騷屋 みんなの筆学所 にっこりと	福岡県	心輝書道会
		熊本県	熊本県立大学 国際倶楽部
		宮崎県	石井琴月アート
		沖縄県	八重山古典音楽研究会・日旅連沖縄支部連合会 日奈妃
		ギリシャ	小原流 ギリシャ支部
		その他	見学7団体

合計87団体 (うちギリシャ1団体)

実行委員会

日本側	
実行委員長	愛知和男 元衆議院議員／公益財団法人 国際親善協会 会長
名誉顧問	清水康弘 在ギリシャ日本国大使館 特命全権大使
顧問	鶴保庸介 参議院議員／公益財団法人 国際親善協会 顧問
理事	岡本 保 一般財団法人 自治体国際化協会 理事長／公益財団法人 国際親善協会 評議員
理事	今村忠雄 一般社団法人 日本海外協会 会長／公益財団法人 国際親善協会 評議員
理事	来島達夫 西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長
理事	二宮雅也 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 取締役会長／公益財団法人 国際親善協会 理事
理事	柏 頼之 日本航空株式会社 執行役員／公益財団法人 国際親善協会 理事
理事	堀坂明弘 株式会社日本旅行 代表取締役社長／公益財団法人 国際親善協会 理事
事務局長	酒井秀則 公益財団法人 国際親善協会 常務理事
(順不同)	
ギリシャ側	
実行委員長	Mr. Kostas Bakoyannis (コスタス・バコヤニス) アテネ市長
理事	Ms. Evangelia Sofroni (エヴァンゲリア・ソフロニ) アテネ市 市長室室長
理事	Ambassador Mr. Tassos Kriekoukis (タソス・クリエクキス大使) アテネ市 市長外交顧問
理事	Mr. Vassilios Koromantzios (ヴァシリオス・コロマンゾス) アテネ市 公安担当副市長
理事	Ms. Vicky Chyta (ヴィッキー・ヒタ) アテネ市 国際協力広報部長

1. ジャパンウィーク運営組織について

ジャパンウィーク2019年ギリシャ・アテネは日本・ギリシャの両国に各々実行委員会を組織し、日本側は愛知和男公益財団法人国際親善協会会長が実行委員長を務め、ギリシャ側はKostas Bakoyannisアテネ市長を実行委員長とし、両国事務局互いの協力のもと開催会場の選定やPR活動・各種イベントなどを協議して参りました。開催会場については各プログラムの主旨をアテネ市に理解いただき、市内中心部に各イベント会場を用意致しました。

一年以上に亘る日々の情報交換、都合6回の現地打ち合わせ、様々な折衝を通じて相互の協力体制を築き上げ、着々と開催準備に努めて参りました。2019年5月にアテネ市長選挙により市長が交代する事態となりましたが、何とか計画通り開催を迎えることが出来ました。

日本側では2018年より全国にてジャパンウィークの説明会等告知活動を開始し、参加申込受付後より各団体と参加するプログラムについての打ち合わせ、荷物の輸送方法、各種公式行事や訪問交流先の調整など数多くの業務をこなして参りました。また、ギリシャ側では各参加団体が日本と同様に公演・展示が出来るよう多くのボランティアの募集や各種許可の承認、取得にご尽力いただきました。



2. 公式行事と各プログラム

11月23日(土)13:30よりアテネ市中心部のシンタグマ広場でオープニングフェスティバル、同日18:00からはアテネ市が日本の参加者を歓迎するウェルカムレセプションがメガロンバンケットルームにて開催され、ジャパンウィーク2019年ギリシャ・アテネの幕が切って落とされた。各プログラムについては、展示・実演はリボンカッピングセレモニーを皮切りにメガロンエキシビションホール上階にて、茶道実演は展示・実演とは別会場のメガロンコンファレンス会場にて、舞台公演は夜、メガロン・ニコス・スカルコタスホールにて24日(日)から28日(木)までの5日間、各会場で開催されました。

訪問交流プログラムについては、学校13団体、老人活動施設5団体、孤児院6団体、児童文化教室2団体、テーマ別4団体と例年になく多くの方が参加され、訪問先の暖かいおもてなしのもと、各団体とも心の通った草の根交流となりました。

毎年参加いただいている西日本友好親善訪問団は、交流イベントおよびアテネナイトを通じて大いに交流の輪を広げていただいた。



3. 在ギリシャ日本国大使館のご尽力とボランティアの活躍

今回のジャパンウィークが成功裏に終了することができたのはひとえにアテネ市及び関係各所との調整にご尽力いただきました清水康弘在ギリシャ日本国大使館特命全権大使をはじめ大使館の皆様のご協力による賜物であります。

また、アテネ日本人会をはじめアテネ市在住の日本人の皆様、日本語学習者や日本文化に興味のあるギリシャの皆様等延べ400人以上の皆様ボランティアとして参加いただき、朝早くから夜遅くまで各会場にて運営スタッフの一員として協力いただきました。中にはジャパンウィークの主旨に賛同し遠方から参加していただいた方もおりました。ボランティアの皆様協力無くして、ジャパンウィークは実現できなかったと言っても過言ではありません。





4. スタッフおよびご協力いただいた方々

アテネでのジャパンウィーク開催が決定してからイベントが終了するまで、以下の方々に実務上のきめこまやかな打ち合わせと準備で大変ご協力いただき、今回のジャパンウィークの成功へと導いた。

City of Athens
 Mr. Dimitris Konstantopoulos
 Ms. Elizabeth Konstantinidi
ギリシャ日本協会
 Mr. Dimos Vratsanos
 Ms. Stella Evgena

アテネ日本人会
 山口真貴子
コーディネーター
 森山佳織

5. 広報・告知について

1. メディアでのプロモーション

- ①アテネ市運営のWeb サイトでのジャパンウィークPR
- ②アテネ市運営のFacebookによるジャパンウィークPR
- ③在ギリシャ日本国大使館のWeb サイトでのジャパンウィークPR

2. アテネ市によるジャパンウィーク開催の記者会見

- ①11月19日にアテネ市庁舎に於いてKostas Bakoyannisアテネ市長、清水康弘在ギリシャ日本国大使館特命全権大使、Dimos Vratsanosギリシャ日本協会会長、Nikolaos Theocharakisメガロン館長によるジャパンウィークの説明
- ②各種メディアでの記者会見の記事放送・掲載
 - ・国営放送ERT1でのTV放送 (11月21日)
 - ・アテネ市のラジオ局での放送
 - ・各種インターネットニュースサイト

3. PRツール作成およびその配布

- ①アテネ市市庁舎でのバナー掲出
 - ・11月15日からアテネ市市庁舎に大型バナーを掲出
- ②ジャパンウィークパンフレットの配布
 - ・ジャパンウィークのパンフレットを20,000部作成し、市内インフォメーションセンター等での配布

4. 記事掲載・ラジオ放送

- ・Greece Japan.com
- ・Greek Otaku Radio
- ・H Kathimetini
- ・The TOC



オープニングフェスティバル



日時 2019年11月23日 (土)

(第1部) 13:30~14:00 パフォーマンス

(第2部) 14:00~14:30 セレモニー

(第3部) 14:30~16:00 パフォーマンス

場所 シンタグマ広場特設ステージ

観客数 約9,000名

日本側 愛知和男公益財団法人国際親善協会会長

清水康弘在ギリシャ日本国大使館特命全権大使

西澤敬二損害保険ジャパン日本興亜株式会社代表取締役社長

柏頼之日本航空株式会社執行役員

堀坂明弘株式会社日本旅行代表取締役社長

ギリシャ側 Kostas Bakoyannisアテネ市長

Anna Rokofyllouアテネ市文化スポーツ青少年協会会長

Tassos Kriekoukisアテネ市長外交顧問

Vassilios Koromantzosアテネ市公安担当副市長

Giourkas Seitaridisアテネ市文化スポーツ青少年協会副会長

参加者 みんなの筆学所っこりと、龍史&七色のスリッパ、ORIENTARHYTHM

剣伎衆かむみ、Classic Ballet Coppelia、三郷市、

特定非営利活動法人 I PRAY、金城学院大学書道部、太鼓衆翔鼓、

京炎そでふれ! 華羅紅、京炎そでふれ! 京小町

〈第1部〉晴天に恵まれ日差しが強いなか、『みんなの筆学所っこりと』の書道パフォーマンスからジャパンウィークがスタートした。『龍史&七色のスリッパ』の奉納舞、『ORIENTARHYTHM』のダンスパフォーマンスで大勢の観客を大いに盛り上げ第1部を締めくくった。

〈第2部〉『ORIENTARHYTHM』の公演後に司会者が登壇し、両国の実行委員会の出席者を紹介後、Kostas Bakoyannisアテネ市長と清水康弘日本国大使館特命全権大使のスピーチが行われた。最後に愛知和男会長がジャパンウィーク2019年ギリシャ・アテネ開幕の開会宣言を行った。

〈第3部〉開会宣言の後に待登場、『剣伎衆かむみ』のサムライショーには大きな拍手がおくられた。続いて『Classic Ballet Coppelia』のダンスパフォーマンス、『三郷市』の笛と太鼓の演奏、『特定非営利活動法人 I PRAY』の伝統的な舞踊、『金城学院大学書道部』の書道パフォーマンス、『太鼓衆翔鼓』の激しい太鼓演奏で客席は大いに盛り上がった。最後は『京炎そでふれ! 華羅紅』と『京炎そでふれ! 京小町』によるエネルギー溢れるよさこいの演舞で会場は熱気に包まれた。大成功を予感させるに十分なすばらしいオープニングフェスティバルだった。

ウェルカムレセプション





ミッドウィークまつり

日 時 2019年11月26日 (火) 14:00~15:30

場 所 シンタグマ広場特設会場

観 客 数 約5,000名

参 加 者 京都大学津軽三味線サークル、三本柳さんさ踊り保存会、花魁オハナ、よさこい屋-Yosakoiers of JAPAN-、関東学院大学”誇咲”、同志社大学よさこいサークル よさ朗

アテネ市民へのジャパンウィークの告知・PRを目的とし、初めての試みとして実施されたミッドウィークまつりは、リハーサル時から集まった多くの観客が見守るなか『京都大学津軽三味線サークル』の演奏からスタート。続いて『三本柳さんさ踊り保存会』による伝統的なさんさ踊り、『花魁オハナ』による和テイストのダンスと続き、その頃には大勢の観客で埋め尽くされた。その後『よさこい屋-Yosakoiers of JAPAN-』の観客を巻き込んでのパフォーマンス、『関東学院大学”誇咲”』と『同志社大学よさこいサークルよさ朗』の大人数での迫力ある合同パフォーマンスと趣向を凝らしたよさこい演舞を披露した。臨場感溢れる屋外パフォーマンスということもあり、演者と観客とが一体となり大いに盛り上がり、アテネ市民へのジャパンウィークの関心を高める良い機会となりました。



日 時 2019年11月23日 (土) 18:00~19:30

場 所 メガロン・バンケットホール

参加団体 52団体 (参加証書授与団体数)

日本側 愛知和男公益財団法人国際親善協会会長、清水康弘在ギリシャ日本国大使館特命全権大使、西澤敬二損害保険ジャパン日本興亜株式会社代表取締役社長、柏頼之日本航空株式会社執行役員、堀坂明弘株式会社日本旅行代表取締役社長

ギリシャ側 Kostas Bakoyannisアテネ市長、Anna Rokofyllouアテネ市文化スポーツ青少年協会会長、Tassos Kriekoukisアテネ市長外交顧問、Vassilios Koromantziosアテネ市公安担当副市長、Giourkas Seitaridisアテネ市文化スポーツ青少年協会副会長

実行委員が会場入口にて出迎えるなか、アテネ市の楽団『The Filarmoniki Orchestra of Municipality of Athens』の演奏にあわせ、参加者の皆様が会場に入場、会場内では『一般社団法人awa酒協会』提供のawa酒が振舞われた。

演奏終了後、はじめに両国実行委員会メンバーの紹介があり、Kostas Bakoyannisアテネ市長による参加者への歓迎の挨拶、愛知会長によるアテネ市への開催に対する御礼と続いた。Kostas Bakoyannisアテネ市長と愛知会長との記念品の交換、両国の実行委員会メンバーによる鏡開きを行い、清水康弘在ギリシャ日本国大使館特命全権大使のスピーチとご発声により参加者一同日本のawa酒で乾杯となりました。その後セレモニーの最後を飾る参加証書授与が執り行われ、参加団体の代表がステージに登壇し、Kostas Bakoyannisアテネ市長、Tassos Kriekoukisアテネ市長外交顧問、清水康弘在ギリシャ日本国大使館特命全権大使、愛知会長によって参加証書が代表者に手渡された。

参加証書授与終了後、参加者はギリシャ名産のワインやカナッペ等を楽しみ、歓談のひとときを過ごした。レセプションの最後にはLykeio Ellinidonによるギリシャダンスがステージで披露され、日本からの参加者も一緒にダンスの輪に加わり、ダンス終了後、ステージで記念撮影が行われるなど終始和やかな雰囲気の中でギリシャと日本との交流がスタートいたしました。

舞台公演

アテネ市内の名門劇場メガロン・ニコス・スカルコタスホールにて、11月24日(日)~28日(木)の5日間舞台公演を実施した。公演の予約は11月15日にメガロンの特設ホームページ上で開始した。事前にすべての公演日の予約が完売し、万全の準備を整え開幕した。

舞台公演の当日には予約が取れなかった多くの方が当日入場出来ることを期待して会場に詰めかけた。公演開始前には当日来場した方の多くが入場することが出来ず、結果ほぼ満席となった。また、11月24日のジャパンウィークが始まった後には口コミで評判が伝わり、最終日の11月28日には満席のため入場出来なかった方が劇場前にあるモニターで観劇するまで来場者数が増えた。

来場者は老若男女にわたり、来場の皆様には十分に公演を楽しんでいただいた。連日異なる公演内容のため複数回見に来られた方が多く、またジャパンウィークの訪問交流プログラムで訪れた先で興味を持った方が来場する等、日本文化に興味をもってもらう機会をアテネ市民の皆様にご提供することができた。会場での鳴りやまない拍手に各参加団体は演技終了後、感動と感激に満ち溢れ、このプログラムの成功を確認することができた。来場していただいた多くのアテネ市民の皆様へ感謝します。

〈団体数〉

38団体

〈観客総数〉

メガロン・ニコス・スカルコタスホール

11月24日~28日 約1,700名

日 時 11月24日(日) 19:00~22:20

場 所 メガロン・ニコス・スカルコタスホール

参加者 全日本婚礼美容家協会、ギリシャダンス“ケフィ”、伝統芸能杉本組、八重山古典音楽研究会、金城学院大学 書道部、KEIKO*萬桂、京炎そでふれ!京小町、龍史&七色のスリッパ、太鼓衆 翔鼓

舞台公演初日は、満員の観客の中、『全日本婚礼美容家協会』による現地モデルの魅力をもっと引き出した着付けパフォーマンスで幕を開けた。続いて、『ギリシャダンス“ケフィ”』が、最高の笑顔で軽快なギリシャダンスを本場の観客の前で披露。『伝統芸能杉本組』は、奏楽と華やかな伝統芸能で観客を楽しませた。『八重山古典音楽研究会』は美しい三線の音色に合わせて琉球古典民謡を歌い上げた。『金城学院大学書道部』は息の合ったパフォーマンスで一つの壮大な作品を作りあげた。『KEIKO*萬桂』は音楽に合わせて舞書を披露。全身を使ったダイナミックな公演でギリシャの観客を魅了した。『京炎そでふれ!京小町』のよさこいは、若さあふれる踊りで会場を大いに盛り上げた。『龍史&七色のスリッパ』は、奉納舞を披露し、初めて奉納舞を見るギリシャの観客を引き込んでいた。初日最後の公演となった『太鼓衆 翔鼓』による力強い和太鼓の演奏は、アンコールがかかり、終わった後もしばらく拍手が鳴り止まなかった。



日 時 11月25日(水) 19:00~22:00

場 所 メガロン・ニコス・スカルコタスホール

参加者 大宮シンフォニーオーケストラ、アンサンブル広島、藤登会、ORIENTARHYTHM、きものレディ着付学院、湖南旭城会、オッジ・ドマーニ・ヒロシ、京炎そでふれ!華羅紅

舞台公演二日目は、『大宮シンフォニーオーケストラ』と現地の学生による息がぴったりとあった合同演奏で開演。『アンサンブル広島』は、美しくも力強い歌声で合唱を行い、大坪氏のピアノ独奏では、綺麗なピアノの音色が会場中に響き渡った。『藤登会』は、三演目の日本演舞を披露。舞扇や面を使用し、軽やかに舞う姿が印象的だった。続く『ORIENTARHYTHM』の映像と生のパフォーマンスを完璧に融合させたステージは圧巻で、大きな拍手が沸き起こった。『きものレディ着付学院』は、優雅に、また華やかに着物を着付ける着付け舞を披露した。『湖南旭城会』は琵琶の演奏と語りを行い、徐々に盛り上がる曲と語りに観客は引き込まれた。『オッジ・ドマーニ・ヒロシ』はギターのエレクトリック演奏を行った。語りは練習したギリシャ語で行われ、巧みな話術で客席から笑いを取った。『京炎そでふれ!華羅紅』はオリジナル曲を使ったよさこい演舞を披露、笑顔溢れる華やかなパフォーマンスで、会場を大いに沸かせた。



日 時 11月26日(火) 19:00~21:30

場 所 メガロン・ニコス・スカルコタスホール

参加者 特定非営利活動法人 I PRAY、三本柳さんさ踊り保存会、花魁オハナ、小林未郁、踏匠嬢、同志社大学よさこいサークル よさ朗

舞台公演三日目は『特定非営利活動法人I PRAY』による歌とダンスで開演。演者によるギリシャ語での平和へのメッセージは観客にも充分伝わり、閉幕後には観客からお手紙をいただいた。続いて、『三本柳さんさ踊り保存会』によるさんさ踊りの披露、多くの観客が初めてみる伝統的な踊りと音楽を堪能し、拍手喝采となった。続いて、『花魁オハナ』による和テイストのダンスパフォーマンス、キレのあるダンスと世界観で会場を大いに盛り上げた。休憩をはさみ、『小林未郁』のオリジナル楽曲から再開。静かに歌に聞き入っていた観客から1曲終わるごとに盛大な拍手が巻き起こった。続いて、『踏匠嬢』による日本の伝統的な踊りを組み合わせた創作タップダンスが披露され、衣装の華やかさと踊りの融合で観客を魅了した。この日最後の演目は『同志社大学よさこいサークルよさ朗』によるよさこいの披露、大人数での息の合った迫力あるよさこいで会場が一体となり終演となった。

日 時 11月27日(水) 19:00~21:30

場 所 メガロン・ニコス・スカルコタスホール

参加者 京都大学津軽三味線サークル、Fly-N、岐阜大学騒屋、Classic Ballet Coppelia、星稜大学スターブルージャズバンド、日奈妃、よさこい屋-Yosakoiers of JAPAN-、京炎そでふれ!咲産華

舞台公演四日目は、『京都大学津軽三味線サークル』の津軽三味線で開演。初めて聴く津軽三味線の音色に観客は聞き入っていた。続いて、『Fly-N』によるサイリウムを使った激しいダンスを披露、初めて見るダンスに会場は拍手喝采となった。その後、『岐阜大学騒屋』がキレのあるよさこいを踊り観客を大いに盛り上げた。休憩前には『Classic Ballet Coppelia』の本格的なバレエが披露され、観客を魅了した。休憩後は『星稜大学スターブルージャズバンド』の軽快な演奏から再開。続いて『日奈妃』によるアニメソングと映像とを融合したワンマンライブで会場が一気に盛り上がった。続いて、『よさこい屋-Yosakoiers of JAPAN-』の観客を巻き込んだ演者と一体感のあるよさこいで会場の熱気が最高潮に達した。この日の最後の演目は『京炎そでふれ!咲産華』によるよさこい。工夫を凝らした衣装と構成、また、曲の間に『Fly-N』の再登場もあり、観客は大興奮のまま幕が閉じた。

日 時 11月28日(木) 19:00~22:15

場 所 メガロン・ニコス・スカルコタスホール

参加者 愛知淑徳ウィンドオーケストラ、永田独歩ケーナ演奏会、REIKO & NAOMi、流通科学大学 和太鼓部、長沼静きもの学院熊谷校、関東学院大学”誇咲”、剣伎衆かむみ

舞台公演最終日は、『愛知淑徳大学ウィンドオーケストラ』の演奏によって開演。それぞれ曲調の異なる7曲を演奏し、時に優しく、時に情熱的な演奏で観客を魅了した。続く『永田独歩ケーナ演奏会』は、南米アンデス山脈に伝わる民族楽器ケーナを使用した演奏を披露、観客は初めてのケーナの音色に聞き入っていた。『REIKO & NAOMi』はフルートとピアノで、日本の童謡やアニメの曲を演奏。完璧に息の合った演奏で、美しいハーモニーを奏でていた。『長沼静きもの学院熊谷校』は、着物の着装を披露。花嫁衣装や振袖、袴といった日本の文化・時節に応じた衣装の着付けを披露。『関東学院大学”誇咲”』は、常に笑顔で元気一杯のよさこいを披露。最後に『剣伎衆かむみ』が、迫力のあるサムライパフォーマンスを披露。観客にサムライを体験させるパフォーマンスも大成功で、拍手喝采の中、舞台公演の幕を閉じた。

| 全日本婚礼美容家協会 |



| ギリシャダンス “ケフィ” |



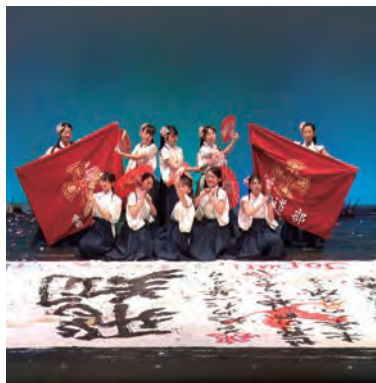
| 伝統芸能杉本組 |



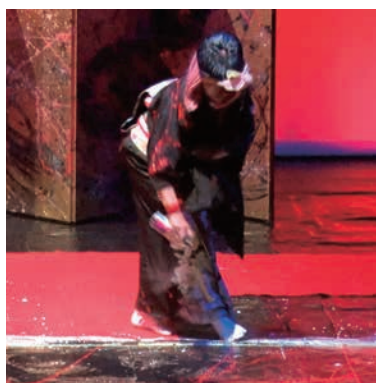
| 八重山古典音楽研究会・日旅連沖縄支部連合会 |



| 金城学院大学 書道部 |



| KEIKO*萬桂 |



| 京炎そでふれ！京小町 |



| 龍史 & 七色のスリッパ |



| 太鼓衆 翔鼓 |



| 大宮シンフォニーオーケストラ |



| アンサンブル広島 |



| 藤登会 |



| ORIENTARHYTHM |



| きものレディ着付学院 |



| 湖南旭城会 |



| オッジ・ドマーニ・ヒロシ |



| 京炎そでふれ！華羅紅 |



| 特定非営利活動法人 | PRAY |



| 三本柳さんさ踊り保存会 |



| 花魁オハナ |



| 小林未郁 |



| 踏匠嬢 |



| 同志社大学よさこいサークル よさ朗 |



| 京都大学津軽三味線サークル |



| Fly-N |



| 岐阜大学騒屋 |



| Classic Ballet Coppelia |



| 星稜大学スターブルージャズバンド |



| 日奈妃 |



| よさこい屋 -Yosakoiers of JAPAN- |



| 京炎そでふれ！咲産華 |



| 愛知淑徳大学ウインドオーケストラ |



| 永田独歩ケーナ演奏会 |



| REIKO & NAOMI |



| 流通科学大学 和太鼓部 |



| 長沼静きもの学院熊谷校 |



| 関東学院大学”誇咲” |



| 剣伎衆かむろ |



展示・実演

日時 11月24日(日)～28日(木)

場所 メガロン・エキシビションホール上階

アテネ市中心部にある複合施設メガロンのエキシビションホール上階を展示会場として開催した。5日間の日程で実施し、週末・平日ともに数多くの来場者が訪れた。特に初日は多くの来場者が訪れ、すれ違うことが大変なくらいの盛況ぶりであった。そのため、初日でワークショップの材料がすべてなくなってしまった参加者も数多く見られた。

多くのアテネ市民に来場いただき、アテネ市民の日本文化に対する強い関心を体感できるイベントとなった。

<団体数>

36団体(うちギリシャ1団体)

<観客総数>

メガロン・エキシビションホール上階

11月24日～28日 約5,000名

メガロン・コンファレンス会場

11月24日～28日 約1,000名



リボンカッティングセレモニー

日時 11月24日(日) 10:30～11:00

場所 メガロン・エキシビションホール上階

観客 約300名

日本側 愛知和男公益財団法人国際親善協会会長
清水康弘在ギリシャ日本国大使館特命全権大使
西澤敬二損害保険ジャパン日本興亜株式会社代表取締役社長
柏瀬之日本航空株式会社執行役員
堀坂明弘株式会社日本旅行代表取締役社長

ギリシャ側 Tassos Kriekoukisアテネ市長外交顧問
Vicky Chytaアテネ市国際協力広報部長
Dimos Vratsanosギリシャ日本協会会長
Stella Evgenaギリシャ日本協会会員
Nikolaos Theocharakisメガロン館長



11月24日の10:30よりメガロン・エキシビションホール上階入口にて・実演会場の開演を告げるリボンカッティングセレモニーが実施された。両国の実行委員会メンバー紹介後、Tassos Kriekoukisアテネ市長外交顧問と清水康弘在ギリシャ日本国大使館特命全権大使のスピーチが行われた。その後、愛知和男会長による開会宣言、各参加団体の紹介、リボンカッティングが行われ、展示・実演が開場し、多くのアテネ市民が訪れ、会場は大盛況となった。



茶道実演



松和会

11月24日 (日)

一回30席、全6回のお点前披露と抹茶体験を行った。全て立ち見が出るほどの盛況ぶり、最後の質疑応答では、お茶や着物はもちろん、掛け軸の内容などについても様々な質問がとび、参加者が興味深く傾く様子がみられた。



煎茶道 静風流

11月25日 (月)

一回30席、全8回のお点前披露と煎茶体験を行った。各回3名様にステージ上にて煎茶体験をしていただいたが、毎回希望者が競って手を上げ、また終了後は記念撮影希望者が列になって順番待ちをするなど、関心の高さがうかがえた。



和育三竹堂

11月26日 (火)

一回25席、全5回のお点前披露と抹茶体験を行った。最初に行われるお点前披露では、参加者は一言も発することなく真剣な眼差しで所作の一つ一つを見つめる一方で、質疑応答では時折笑いも起きるリラックスした雰囲気に入れられ、そのコントラストが印象的であった。



茶道裏千家岡山桃花会

11月27日 (水)

一回30席、全7回のお点前披露と抹茶体験を行った。茶菓子として提供された地元の吉備団子、そして手作りのさざれ石はご来場者の関心をひき、またこちらでも竹で手作りされた結界などが設えられたステージでは列をつくって写真撮影がされていた。



楽知会

11月28日 (木)

一回30席、全4回のお点前披露と抹茶体験、ワークショップを行った。お点前披露後のワークショップでは、3箇所に分かれて「干菓子を作る」、「抹茶を点てる」、「濃茶を飲む」などの体験をしていただいたが、特に干菓子が作れるパートは人垣ができるほどの人気で、どなたも初めての体験に満足しておられた。



| 剣伎衆かむみ |



形式美と芝居と武術を融合した『サムライアーティスト』集団「剣伎衆かむみ」は多目的スペースで多数パフォーマンスをおこなった。世界中誰もが知る「サムライ」パフォーマンスは連日の大人気。SNSなどの拡散効果もあり、さらに来場者が増え展示会場の目玉となっていた。

| 祥華算命 Shokasanmei |



生け花とクラフトの展示とワークショップでのご参加。幸せをもたらせてくれた人への感謝を表す“いけ花”と“クラフト”をテーマに作品を制作したとのこと。ワークショップではテーマ「同愛（こども）」ブランドのバッグに、絵に鉱物を使った体験をしてもらい、主に女性に大人気であった。

| 中西裕人写真事務所 |



ギリシャの聖地「アトス山」の取材をライフワークとしているプロの写真家。ギリシャ人95%の聖教徒が憧れるこの女人禁制の聖地をリアルな写真で伝え、来場者から多くの感動と感嘆の声が上がっていた。ギリシャの文化を日本人の目を通して表現することで、感謝をお返しする為にご参加頂いたとの事。いずれ日本とギリシャの友好のために大きな写真展を開催したいと思っている。

| みんなの筆学所 にっこりと |



日本独特の書の魅力を様々なスタイルを取り入れ、表現する作品を多数展示した。和風絵と共に描く七福神の書や、ろうけつ染めで書いた日本唱歌の書も人々の目を大きく引いた。体験ワークショップでは美濃和紙などを使い、紙の説明などを交えながら、書道体験をしてもらい充実した草の根国際交流となった。

| 耀窯陶芸倶楽部 |



今回初めてのジャパンウィーク参加で、陶芸の展示とワークショップを行った。ワークショップでは紙粘土の花に彩色を体験をしてもらい、お持ち帰り頂いた。訪問された方は日本に興味があるが、陶芸に関してはあまり知らない方が多かったようで、初めて陶芸に触れて感動される方が多かった。180個用意した材料もあっという間に無くなってしまった。

| 熊本県立大学 国際倶楽部 |



おりがみと書道のワークショップを中心に展開した。習字では来場者の名前を日本名風に当て字で書いて、多種の漢字の意味を説明すると非常に喜んでくれた。アニメを通じて日本を知った来場者が多く、そこに出てくる漢字の意味自体に興味がある事など知り、和気あいあいとした国際草の根交流になった。

| アトリエ桂 [Kei] |



今回初のご参加。力作の和風立体絵画3点（華の舞・市川団十郎・鳳凰）を展示頂き、来場者から大変な人気であった。ワークショップではカニのシャドーボックス（立体絵画）制作を実施し、ギリシャの女性の心をわし掴みにして大変な盛り上がりみせた。

| 花工房 美呂 |



日本にしか無い花（造花装飾体）の新たな文化を創り発信する為に初のご参加。布と和紙など異質素材を組み合わせて作る、造花は日本独特の優美な美しさを醸していた。ジャパンウィーク参加のために特別の大作を制作したり、展示用特別ラックを作製するなど、特に力を入れた甲斐があり来場者も非常に多く人気ブースであった。

| 墨遊小路の会 |



国際親善の為、磯田長岡市長からアテネ市長への親書と共に預かった、長岡火花をモチーフに制作された書作品「光華（長岡市所蔵・泉田祐子作・幅5.4x高さ2.36m）」は、ジャパンウィーク史上最大規模の作品で展示会場の花となりギリシャの人々を魅了した。又、多目的スペースでは参加者13人が、ギリシャ人を巻き込みながらお花見ショーを開催し交流を図った。ショーの締めには書家の泉田祐子が、世界の平和を願い「雪月花」の文字を6尺6曲の金屏風に揮毫する書制作ライブを行うと、会場からは大歓声が巻き起こった。

| 齋藤よう子バレエ・スタジオ |



多目的スペースでの「源氏物語の語り」パフォーマンスがメインでのご参加。2日間に渡り、日本の古典に興味のあるお客様が多く来場された。日本文化の神髄である古典源氏物語を伝えることは難しいが、ギリシャ人の先生の同時通訳を通じて上手く伝えることが出来たと思う。若いギリシャ人の方も感動されていた。

| 岩橋知子押し花教室 |



今回4回目のご参加。10点の押し花作品を展示した。筍の皮・マンゴー・バナナ等食品を使ったユニークで繊細な押し花作品はギリシャでは珍しく、多くの方が訪れて様々な質問があった。その説明をする事を通じて心の通い合う国際交流が出来た。記念品の押し花の絵葉書は大変な人気で喜ばれた。次回は体験ワークショップも考えたい。

| 関西学院大学絵画部弦月会 |



トリノに続き2回目のご参加。大学絵画部の作品展示とライブアートを披露した。展示作品数は19点、ライブアートでは半紙に筆ペンで水墨画風の絵を書くパフォーマンスが大人気であった。折り紙や、小さい紙にイラストを描いたりして、和気あいあいとフレンドリーな国際交流時間を過ごすことが出来た。

| 現代創作版画 集団 |



今まで世界中で展覧会を実施しており、人々に影響を与えて来た実績がある。初めてギリシャの地で作品を披露したが、作品の表現力は来場者を圧巻した。一つ一つの作品に一つ一つの意味があり、それらを心で読み取ろうと来場者は熱心な目で注目していた。

| E-JAN |



他団体と合同での参加。言葉ではなく版画で思いや感情を伝えることで、国境を越えてギリシャの方々にも版画の意味が浸透した。来場者は立ち止まり、心ゆくまで作品を鑑賞し、思い思いの感情に浸りながら作品に魅了されていた。

| アート集団 チームNaMo |



他団体と合同での参加。どれもユニークで味のある作品ばかりで、来場されたギリシャの方の目を惹いていた。会場入り口に構えた数々の作品は、いきなり来場者にインパクトを与え、かつ日本の繊細できめ細かい特徴をも印象付けていた。

| A-EBIFURYa- |



展示会場入り口に、いきなり前衛的な大作アート版画が展示された。来場者はみな度肝を抜かれていた。ある意味この展示会への期待を醸造するような作品の位置づけになったようだ。来場者は作品について興味津々に質問をしたり見入ったりしていた。

| 小原流 札幌支部 |



小原流活け花の札幌支部として参加し大作を3点展示した。アテネの生花店で入手してきた素材を生かした作品を創り出すのも、生け花の醍醐味であるとのこと。展示作品の中では写景自然技法を用いて、自然の景観美を表した作品は、ギリシャの人々には新鮮で人気があった。又小原流ギリシャ支部との国際交流も叶い充実した出展となった。

| 福井おむすび同好会 |



福井県のブランド米「いちほまれ」と福井の特産食材を使ったおむすびパフォーマンスを実施した。様々な具材を使ったおむすびを試食して頂き、来場者もおむすびを作る体験をおこなった。微妙な力加減は現地の方には難しい様で歪なおにぎりも散見されたが、それも笑いの種で良い国際交流になった。又空き時間のおりがみの実演やお箸のプレゼントも大好評であった。

｜ 籐工芸の会 ｜



天然素材の籐を用いて、かご、バック、器、花かご、アクセサリーなどさまざまな作品を展示頂き、ワークショップでは、花むすびストラップや小さな籠も制作体験した。日本語とギリシャ語のミックスした会話でのコミュニケーションも楽しく、又男性が興味を大きく示し積極的に参加していた事には意外な感じがかった。

｜ 創作和人形とちりめん細工物の会 ｜



オリジナル和人形に古い着物の生地を着せ替えた作品と、残った端切れを使ったちりめん細工小物の作品を展示した。日本独特の色合いや柄そして絹の手触りはヨーロッパでは大変珍しく、女性を中心に大変な人気であった。又来場者はちりめんを使った珍しい金魚ストラップの制作を行い、繊細な作業に夢中になっていた。

｜ 松山大学書道部「南風会」 ｜



大学の書道サークル2回生中心にご参加頂いた。書道作品展示と書道ワークショップを実施し、2日間ブースは大変な盛り上がりを見た。ギリシャの方は日本の文化と日本語に大変興味があり、習字体験を通してコミュニケーションをとり、楽しみながら優しく日本文化を伝えることが出来た事に大きなやりがいを感じた。

｜ 三郷市 ｜



東京オリンピックでギリシャチームのキャンプ地を予定している縁もあり、シティーセールス及び交流を目的として、市長を先頭にご参加頂いた。地酒テイस्टینگや抽選等が大変盛況で、計900名以上が訪れた。又多目的ホールでは和太鼓と篠笛のパフォーマンスを行い、日本文化紹介を合わせておこなった。

｜ フローラルスペース双恭 ｜



異質素材を使った活け花アートの展示と実演、体験ワークショップを実施。体験ではハサミと剣山・水盤などの道具や活け花作法に参加者は興味津々で、自分なりのアート作品を作り上げることに満足感を感じていた。なぜか白い花が大人気で女性の人だかりが出来ていた。

｜ 陶貴の会 ｜



花瓶や十二支の陶芸作品展示と体験ワークショップを行った。タタラ作り手法をもって小物や小皿の制作体験を実施した。作品の柄をフリーデザインにして自由に書いてもらった事が好評で、大変な人気であった。連日大好評でアテネ市長もワークショップに参加されたことで話題を呼んだ。

｜ 心輝書道会 ｜



アーティストレスの言葉の作品や着物や扇、団扇、和小物に書を揮毫した作品の展示をした。一風変わった書道表現の作品に多くの人が興味津々。日本語勉強中のギリシャ人や日本の方が興味深く質問したり感動の言葉を掛けたり、記念写真を撮ったり多く方との交流が出来た。

｜ 古色の美 ｜



古代色の美しさと日本伝統色である「べんがら」の土から採取する染料を使用した染物を多数展示頂き、べんがら染体験ワークショップを実施した。Tシャツ・手ぬぐい・タペストリーや絞り染めの作品はギリシャの女性のハートを掴み、興味津々大人気であった。水を使用するべんがら染体験ではリアルな発色を楽しんでいた。

｜ 赤坂なでしこ会 ｜



今回5回目のご参加。日本の伝統工芸である木目込み人形を多数展示頂いた。繊細な技法を用いた味わいのある作品は来場者に大評判であった。日本人に近い感覚を持ったギリシャの女性来場者が多く、様々な質問があった。又ワークショップの手毬制作体験には長蛇の列が出来て150個の手毬があっという間になくなった。

｜ 専門学校ルネサンス・デザインアカデミー ｜



今回3回目で、学生21名先生2名イラストレーション科専門学校の海外研修として参加頂いた。ワークショップ中心のブース展開で、缶バッジ制作、似顔絵プレゼント、ポストカードや雑貨の配布。ライブペイント、パソコンを使ったデジタルイラスト実演など多様なワークショップで大変な人気と盛り上がりを見せた。アニメと言うサブカルチャーを通して日本文化を世界に紹介していた。

｜ 京都大学キャップ投げ倶楽部 ｜



京都大学を中心とするインカレサークルでの参加。ご存じペットボトルのキャップを指ではじき的に当てる競技をギリシャで紹介した。ブースでの的当てワークショップでは、老若男女問わず多数の参加者が群がり、我先にとキャップ投げを体験したいと盛況であった。多目的ホールでの野球パフォーマンスでもこの単純な競技は国境の壁を難なく超えている。キャップ投げと言う日本発祥の新しいスポーツを世界に広げて行きたいと夢は大きい。

｜ 石井琴月アート ｜



古代文字をそのまま艺术的に表現した書道作品。漢字のルーツに光を当てる芸術である。ただ文字の造形の美しさだけでなく、ギリシャ語のキャプションを付けてその意味まで見る人に伝える事に大きな意義があった。体験ワークショップでは来場者の名前をさいてカタカナや漢字の当て字を自ら描く体験を通してコミュニケーション交流が出来た。

｜ おりがみ (苑子くらぶ) ｜



1991年から30年近く、個人でおりがみを通した交流事業を行っている。ギリシャが大好きで、大理石の国ギリシャと日本との間で「紙の技術おりがみ」を通した交流を広げて行きたいとのこと。5日間毎日ワークショップを実施して頂き、連日大人気であった。

｜ 一般社団法人awa酒協会 ｜



群馬の地酒「水芭蕉/純米大吟醸」と岩手の地酒「南部美人/特別純米」の試飲コーナーを設置展開した。ギリシャではほとんど経験のある方がいない日本酒の試飲で、「おいしい・おいしい」と大評判の人だかりであった。中にはほぼ毎日来場される方もいるほど人気であった。

｜ 池依 依依 ｜



迫力に満ちた馬の絵画を展示頂いた。作品の力強さと大胆で奇抜なこの絵画手法に来場者は思わず目を奪われ、立ち止まり鑑賞していた。配布されていた作品のポストカードも人気ですぐに無くなるほどであった。

｜ 嵯峨御流華道北陸司所 ｜



約1200年前の嵯峨天皇の自然や草木に対する慈しみの心が、礎になっている格式ある活け花流派の大作を1点展示頂いた。ギリシャ産の大ぶりなお花を使い大胆かつ繊細な表現の作品は、展示会場を訪れる多くの人々の目を引き付けていた。

｜ 埼玉県物産協会 ｜



埼玉県の観光と物産の紹介を目的に今回初参加頂いた。2日間の出展であったが計600名以上の参加者がブースを訪問した。特産の柚子醤油・日本酒・ウイスキーの試飲を中心に運営し好評であった。埼玉の観光パンフレットが人気があり観光プロモーション的にも大きな可能性を感じた。日本に興味があっても情報が少ないギリシャではパンフレットや試飲・体験など五感に働きかける日本紹介が大切であると感じた。

現地参加 | 小原流 ギリシャ支部 |



ギリシャジャパンウィークにおいて、生け花パフォーマンスの現地カウンスパートとして多大なご協力を頂いた。又活け花ギリシャ代表としても展示にご参加頂いた。日本の伝統文化の奥深さを、ギリシャの方の感性を通して表現して頂き大変好評であった。



交流プログラム

訪問交流プログラムの学校訪問は13団体、老人ホーム訪問は5団体、孤児院は6団体、児童文化教室は2団体、テーマ別訪問は4団体の延べ30団体が参加し、各団体ともに心がふれあう交流を行った。

京炎そでふれ！華羅紅

孤児院

日時 11月24日(日) 13:45~14:45
場所 孤児院 Chatzikiriakeio Foundation of Child Protection
参加者 約15名

京炎そでふれ！華羅紅は孤児院Chatzikiriakeio Foundation of Child Protectionの児童とよさこいを通じての交流を行った。まず、最初によさこいを披露し、その後、児童に英語でよさこいのレッスンをを行った。最初は少し恥ずかしがっていた児童であったがレッスン後は日本側の参加者と打ち解け、孤児院の施設の紹介と一緒によさこいを踊る等交流を楽しんでいた。

交流の最後に、アテネ市での最初の訪問交流ということで、愛知会長・池依文化親善大使が訪問した。



花魁オハナ

孤児院

日時 11月24日(日) 15:15~16:20
場所 孤児院 Chatzikiriakeio Foundation of Child Protection
参加者 約20名

花魁オハナは孤児院Chatzikiriakeio Foundation of Child Protectionの児童と踊りを通じての交流を行った。まず、最初に花魁オハナが自己紹介を行い、演舞の披露をした。児童は初めて見る日本の衣装と踊りに興奮していた。その後、扇子を使った体験レッスンをし、交流を楽しんだ。児童にとって初めての体験することばかりで大変貴重な体験となった。



みんなの筆学所にとりこり

学校

日時 11月25日(月) 12:00~13:00
場所 美術学校 Art School in Gerakas
参加者 約25名

みんなの筆学所にとりこりは、美術学校Art School in Gerakasの美術コース専攻の生徒と書道を通じての交流を行った。まず、最初に書道の説明と実演を行い、その後各自書道の練習をした。はじめは間違えることを恐れていた生徒であったが、徐々に書道に慣れていったようであった。交流の最後に、練習した漢字を大好きなアニメキャラクターであるジブリの風を書く際には、皆興奮していた。生徒の書道に対する関心は高く、練習した半紙を捨てずに大事に持ち帰るのが印象的であった。



花工房美呂

学校 老人ホーム

日時 11月25日(月) 10:15~11:15, 12:00~13:30
場所 美術学校 Art School in Gerakas 老人活動施設 Friendship Club Analipsi tou Kiriou
参加者 美術学校約20名 老人活動施設約40名

花工房美呂はまず最初に午前中に美術学校Art School in Gerakasで造花のデモンストレーションを行った。美術コース専攻の生徒は布や着物の素材から造花が出来る様子を興味深く見ていた。最後に特殊素材で作ったブーケがプレゼントされた。続いて、正午からは老人活動施設Friendship Club of Elderly Peopleで交流を行った。こちらでも日本文化に対する関心は高く、着物の説明や日本の若い女性や舞子のヘアメイクについての説明を行った。最後に新年の飾りを付けたバスケットがプレゼントされた。



ORIENTARHYTHM

学校

日時 11月25日(月) 10:15~11:00
場所 美術学校 Art School in Gerakas
参加者 約60名

ORIENTARHYTHMは美術学校Art School in Gerakasのダンスコース専攻の生徒とダンスを通じての交流を行った。まず、最初にパフォーマンスを披露、その後「What is real Japanese Cool」をテーマに英語で講義を行った。生徒の関心は非常に高く、他のパフォーマンスのリクエストや多くの質問が寄せられた。先生の関心も高く、終了後に意見交換を行った。



伝統芸能杉本組

学校

日時 11月25日(月) 10:00~14:00、
場所 音楽学校 Experimental Musical Gymnasium-Lyceum in Pallini
参加者 高校生約60名、中学生約45人

3団体で音楽学校Experimental Musical Gymnasium-Lyceum in Palliniを訪問し高校生・中学生と交流を行った。伝統芸能杉本組は神楽を披露し、生徒は初めてみる神楽に興味深く見ていた。その後3団体合同でワークショップを行った。ワークショップでは、太鼓をはじめとした様々な楽器に触れ、また伝統的な衣装に袖を通すなど、積極的に日本文化と触れ合っていた。最後、先生と昼食をとりながら意見交換を行い、生徒が演奏したCDをプレゼントされ、交流が終了した。



京都大学津軽三味線サークル

学校

日時 11月25日(月) 10:00~14:00、
場所 音楽学校 Experimental Musical Gymnasium-Lyceum in Pallini
参加者 高校生約60名、中学生約45人

3団体で音楽学校Experimental Musical Gymnasium-Lyceum in Palliniを訪問し高校生・中学生と交流を行った。京都大学津軽三味線サークルは津軽三味線を披露し、生徒は初めてみる津軽三味線を熱心に聞いていた。その後3団体合同でワークショップを行った。ワークショップでは、ギリシャの伝統的な音楽“rebetiko music”を津軽三味線で演奏した。最後、先生と昼食をとりながら意見交換を行い、生徒の演奏したCDがプレゼントされ、交流が終了した。



よさこい屋-Yosakoiers of JAPAN-

学校

日時 11月25日(月) 11:00~12:10
場所 美術学校 Art School in Gerakas
参加者 約60名

よさこい屋-Yosakoiers of JAPAN-は美術学校Art School in Gerakasのダンスコース専攻の生徒とよさこいを通じての交流を行った。まず、最初によさこいを披露、その後生徒と自分たちオリジナルのよさこいの振り付けを作成した。自身で振り付けを作成することが出来たことに生徒は大変喜んでいて。最後に鳴子がプレゼントされ、交流が終了した。行き違いがあり部屋が空いていなく、開始時間が遅くなってしまったことは残念だったが、先生と生徒は大満足で交流が終了した。



永田独歩ケーナ演奏会

学校

日時 11月25日(月) 10:00~14:00、
場所 音楽学校 Experimental Musical Gymnasium-Lyceum in Pallini
参加者 高校生約60名、中学生約45人

3団体で音楽学校Experimental Musical Gymnasium-Lyceum in Palliniを訪問し高校生・中学生と交流を行った。永田独歩ケーナ演奏会はケーナの演奏を披露し、生徒はその音色に聞き入っていた。その後3団体合同でワークショップを行った。演奏後、興味をもった生徒と意見交換を行った。最後、先生と昼食をとりながら意見交換を行い、生徒の演奏したCDがプレゼントされ、交流が終了した。



同志社大学よさこいサークル よさ朗

学校

日時 11月25日(月) 10:45~12:10
場所 高校 2nd High School of Athens
参加者 約80名

同志社大学よさこいサークルよさ朗は2nd High School of Athensの生徒とよさこいを通じての交流を行った。まず、最初によさこいを披露し、その後、生徒は4つのグループに分かれ、鳴子の使い方やよさこいの振り付けについてレッスンを受けた。最後に一緒によさこいを踊り、記念品をプレゼントして交流が終了した。多様な生徒が在籍している公立高校で皆が喜んで踊っているのが印象的であった。

また、学校まで衣装で移動したため、道中色々な方に握手を求められていた。



大宮シンフォニーオーケストラ

テーマ別

日 時 11月25日(月) 15:00~19:30
場 所 メガロン・ニコス・スタルコタスホール
参 加 者 13名

大宮シンフォニーオーケストラは音楽学校 Experimental Musical Gymnasium-Lyceum in Palliniの有志13名と合同演奏を行った。楽譜を事前に送付していたが、公演本番を夜に控え、当日午後最初に最後の合同練習を行った。生徒は初めて他国の人と一緒に演奏することに興奮しており、とても貴重な体験となったとのことであった。短い練習時間ではあったが、本番の舞台上は両国の参加者が息のあった演奏を披露して、大勢の観客から盛大な拍手を受けていた。



特定非営利活動法人 I PRAY

孤児院

日 時 11月25日(月) 17:10~17:50
場 所 孤児院 Chatzikiriakeio Foundation of Child Protection
参 加 者 約50名

特定非営利活動法人I PRAYは孤児院Chatzikiriakeio Foundation of Child Protectionの児童と踊りと折り紙を通じての交流を行った。開始前は恥ずかしがっていた児童であったが、パフォーマンスが始まると、参加者と同じ衣装を着られることに興奮して、えてじゃん祭りや広島県民体操奏と一緒に踊っていた。その後、室内に移り、折り鶴と一緒に折った。最後、パフォーマンスが見たいとの児童からのリクエストに応え、踊りを披露した。スピーカーが故障してしまい、開始時間が遅くなってしまったことは残念だったが、児童は大満足で交流が終了した。



祥華算命 Shokasanmei

老人ホーム

日 時 11月25日(月) 10:15~10:45
場 所 老人活動施設 Friendship Club Analipsi tou Kiriou
参 加 者 約15名

祥華算命Shokasanmeiは老人活動施設Friendship Club Analipsi tou Kiriouの利用者と生け花を通じての交流を行った。最初に生け花のデモンストレーションを行い、利用者は興味深く生け花が仕上がる様子を見ていた。その後、施設利用者を交えて一緒に生け花を生けた。日本ギリシャ双方からお互いの文化を理解するため様々な質問がされた。最後、作成した生け花が施設にプレゼントされ、利用者皆に喜ばれて交流が終了した。



太鼓衆翔鼓

孤児院

日 時 11月25日(月) 15:00~16:00
場 所 孤児院 Chatzikiriakeio Foundation of Child Protection
参 加 者 約50名

太鼓衆翔鼓は孤児院Chatzikiriakeio Foundation of Child Protectionの児童と太鼓を通じての交流を行った。演奏前にまず参加者から手作りの財布としおりがプレゼントされた。その後、太鼓の演奏が始まり、曲毎に背景等が丁寧に説明された。ワークショップの際には皆興奮しており、全員が演奏を希望していた。参加者から最後にまた児童へのプレゼントがあり、児童は貴重な体験についての感謝を日本語で伝え、参加者とハグをして交流が終了した。



おりがみ (苑子くらぶ)

児童教室

日 時 11月25日(月) 18:30~19:30
場 所 児童教室 Paidi kai Dimiourgia
参 加 者 約15名

おりがみ(苑子くらぶ)は児童教室Paidi kai Dimiourgiaに通う児童とその保護者を対象に折り紙を通じての交流を行った。折り紙のレッスンを行ったところ、児童が低年齢にも関わらず、丁寧な指導のおかげで綺麗な折り紙になった。皆、折り紙に強い関心を持ったようで、折り紙に対する色々な質問がされた。児童もその保護者も初めての体験を楽しみ、交流が終了した。



踏匠嬢

老人ホーム

日 時 11月25日(月) 11:30~12:30
場 所 老人活動施設 Friendship Club Analipsi tou Kiriou
参 加 者 約40名

踏匠嬢は老人活動施設Friendship Club Analipsi tou Kiriouの利用者とダンスを通じての交流を行った。踏匠嬢オリジナルのダンスが始まると、皆初めて見るその衣装と踊りに釘付けとなった。パフォーマンスが終わると、神楽について、日本文化全般について様々な質問がされた。また、皆一緒に写真が撮りたいため、撮影会となった。最後、施設が用意してくれた軽食を食べながら、和やかに交流が終了した。



Classic Ballet Coppelia

孤児院

日 時 11月26日 (火) 15:00~15:45
場 所 孤児院 Chatzikiriakeio Foundation of Child Protection
参 加 者 約30名

Classic Ballet Coppeliaは孤児院Chatzikiriakeio Foundation of Child Protectionの児童と踊りを通じての交流を行った。まず、最初にClassic Ballet Coppeliaがダンスを披露し、その後一緒に踊った。児童は日本に関心を持っており、日本について色々英語で質問していた。最後、参加者が折り鶴をプレゼントして、施設が用意してくれた軽食を食べながら、和やかに交流が終了した。児童が歓迎するため「こんにちは」等の日本語を覚えている姿が印象的であった。



日奈妃

孤児院

日 時 11月26日 (火) 16:30~17:10
場 所 孤児院 Chatzikiriakeio Foundation of Child Protection
参 加 者 約25名

日奈妃は孤児院Chatzikiriakeio Foundation of Child Protectionの児童と歌と踊りを通じての交流を行った。まず、最初にアニメソングとダンスを披露した。児童が18才前後と日本のポップカルチャーに関心をもつ年代であったため、熱心に聞いていた。その後、アニメソングのレッスンをし、皆と一緒に歌った。歌とダンスに加え、日奈妃のネイルアートを見て、日本の高い技術に驚いていた。



燿窯陶芸倶楽部

テーマ別

日 時 11月26日 (火) 12:00~15:00
場 所 陶芸博物館 Pottery Museum Athens
参 加 者 約15名

燿窯陶芸倶楽部は陶芸博物館Pottery Museum Athensでギリシャの陶芸家と陶芸をテーマとした交流を行った。まず、日本の参加者が電気ろくろを使い日本の技法を実演で紹介し、その後ギリシャ側がギリシャの技法を実演で紹介した。その後、お互い用意していた陶芸を交換した。最後、博物館館長の案内で展示品を見て回り、交流が終了した。



陶貴の会

老人ホーム

日 時 11月26日 (火) 10:15~11:00
場 所 老人活動施設 Friendship Club Analipsi tou Kiriou
参 加 者 約20名

陶貴の会は老人活動施設Friendship Club Analipsi tou Kiriouの利用者と陶芸を通じての交流を行った。最初に施設と陶貴の会の紹介の後、早速スポンジを使った方法での陶芸についての説明をしてワークショップを開催した。この方法で作られる美しい形に驚き、指導を受けながら何回も作り直している姿は印象的であった。最後、施設が用意してくれた軽食を食べながら、日本について色々な質問をされ、交流が終了した。



オッジ・ドマーニ・ヒロシ

老人ホーム

日 時 11月26日 (火) 11:20~12:00
場 所 老人活動施設 Friendship Club Analipsi tou Kiriou
参 加 者 約40名

オッジ・ドマーニ・ヒロシは老人活動施設Friendship Club Analipsi tou Kiriouの利用者と歌を通じての交流を行った。ギターの弾き語りのコンサートを行い、皆初めて聴く日本の歌に興味を持ち、大変な盛り上がりとなった。また、ギリシャ語を勉強してきてくれたことに感謝をしていた。最後、施設が用意してくれた軽食を食べながら、コンサート開催のお礼の言葉をいただき交流が終了した。



専門学校ルネサンス・デザインアカデミー

テーマ別

日 時 11月27日 (水) 10:00~13:00
場 所 美術学校 Art School in Gerakas
参 加 者 約50名

専門学校ルネサンス・デザインアカデミーは、美術学校Art School in Gerakas 美術コース専攻の生徒とイラストを通じての交流を行った。まず、最初両校の生徒が学校紹介を行い、その後少人数のグループとなりワークショップを行った。両校生徒ともマンガやイラストが好きということもあり、それぞれの作品を見せながら熱心に好きな作家や将来目指していることについても意見交換をしていた。その後お互いの似顔絵を描き、ギリシャの学生は日本の学生の技術の高さに、日本の学生はギリシャの学生の表現方法に興味をもっていったのが印象的であった。最後に日本のイラスト集がプレゼントされ、交流が終了した。



ギリシャダンス“ケフィ”

テーマ別

日時 11月27日(水) 19:10~19:50
 場所 ダンス教室 Lykeion ton Ellinidon
 参加者 約25名

ギリシャダンス“ケフィ”は、ダンス教室 Lykeion ton Ellinidonにてギリシャダンスを通じての交流を行った。まず、最初にギリシャダンスを披露し、その後Lykeion ton Ellinidonと一緒にギリシャダンスを踊った。踊った曲についてはその曲のストーリーや背景がギリシャ側から説明された。日本でギリシャダンスを踊っている団体がいること、またそのレベルの高さにギリシャ人が驚いていた。



剣伎衆かむみ

学校

日時 11月27日(水) 10:00~12:15
 場所 学校 PLATON WORLD SCHOOL
 参加者 約800名

剣伎衆かむみはPLATON WORLD SCHOOLにて殺陣のパフォーマンスの披露と竹刀を使ったワークショップを行った。最初は小学生、続いて中学生と時間を分けて行ったが、生徒の関心は高く、非常に多くの生徒が参加することとなった。剣伎衆かむみが平和への想い、基本的な動作を披露した後、その後ワークショップを行った。先生は非常に大人数であったが、皆が楽しめるように対応してくれた剣伎衆かむみのホスピタリティーの高さに感謝していた。



京都大学キャップ投げ倶楽部

学校

日時 11月27日(水) 12:30~13:30
 場所 学校 PLATON WORLD SCHOOL
 参加者 約200名

京都大学キャップ投げ倶楽部はPLATON WORLD SCHOOLにてキャップ投げのワークショップを行い交流した。多くの生徒が参加できるよう、時間を区切ってワークショップを行った。各回、キャップ投げという新しいスポーツについての説明をした後、早速実践となった。生徒はこの新スポーツに生徒は関心をもったようで、キャップ投げの出来た背景等の質問がなされた。ワークショップ後、生徒同士でキャップ投げをしていたのが印象的であった。

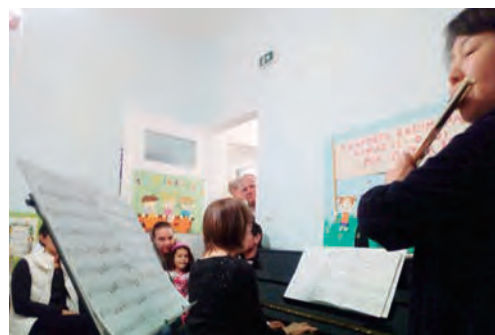


REIKO&NAOMI

児童教室

日時 11月27日(水) 18:10~19:00
 場所 児童教室 Paidi kai Dimiourgia
 参加者 約15名

REIKO&NAOMIは児童教室Paidi kai Dimiourgiaに通う児童とその保護者と音楽を通じての交流を行った。最初は日本の古い曲を3曲、その後アニメの曲を2曲、最後「花は咲く」を、説明を交えて披露した。児童が低年齢にも関わらず皆、初めて聴く日本の曲を静かに聞いていた。最後の20分は日本の伝統的な歌遊び「かごめかごめ」をして交流を行った。ギリシャにも似ている歌遊びがあるとのこと、児童もその保護者も関心をもって遊んでいた。



流通科学大学和太鼓部

学校

日時 11月27日(水) 10:00~11:30
 場所 学校 PLATON WORLD SCHOOL
 参加者 約400名

流通科学大学和太鼓部はPLATON WORLD SCHOOLにて和太鼓の披露と太鼓を使ったワークショップを行った。生徒の関心が高く、多くの生徒が参加できるよう、最初は中学生、続いて小学生と時間を分けて行った。各回和太鼓の演奏を披露した後、その後ワークショップを行った。ワークショップに参加したいという生徒がほとんどで、限られた時間の中対応してくれた流通科学大学和太鼓部に皆感謝していた。



京炎そでふれ！咲産華

学校

日時 11月27日(水) 10:20~11:00
 場所 学校 PLATON WORLD SCHOOL
 参加者 約50名

京炎そでふれ！咲産華はPLATON WORLD SCHOOLの生徒とよさこいを通じての交流を行った。まず、最初に京炎そでふれ！咲産華がよさこいを披露した。その後よさこいの振り付けについてのレッスンを行い、一緒によさこいを踊った。生徒が低学年のため言葉の問題や振り付けが出来るか心配であったが、言葉は不要で、丁寧な指導で楽しんで一緒によさこいを体験することが出来た。



長沼静きもの学院熊谷校

学校

日時 11月29日(金) 10:00~12:00
場所 高校 2nd High School of Athens
参加者 約130名

長沼静きもの学院熊谷校は高校 2nd High School of Athensの生徒と着物を通じての交流を行った。まず着物のモデルを希望する生徒を4名集め、着物の着付けとヘアメイクを施した。その後、着物ショーの見学に来た生徒にその着物姿を披露し、また、追加で見学者の中から数名の生徒をステージで浴衣に着付けた。ショーの後は質疑時間となったが、生徒の関心が高く色々な質問がなされた。最後に学校に浴衣と日本人形がプレゼントされ交流が終了した。



アートクロス

日時 11月24日(日)~11月27日(水)
場所 メガロン・ニコス・スカルコタスホール・ホワイエ

株式会社アートクロスは、メガロン・ニコス・スカルコタスホール・ホワイエにて「Japan Art Festival 2019 in Athens」を開催した。絵画・書道等の57点の作品が展示され、連日多くの来場者が足を止めて作品を鑑賞していた。また、つ花せん氏による「写古事記」、でっちー(D.G)氏による「The Tree of Peace」、森中めぐみ氏による「エネルギーリーディング」の3つのワークショップは大人気で、常に順番待ちの列が出来ている状態だった。



西日本友好親善訪問団 交流プログラム

日本語を学んでいる地元の方々との交流会 日本語の集い

日時 11月21日(木)・25日(月)・28日(木)

場所 インターコンチネンタルホテル



アテネに到着した翌日は、ジャパンウィークの目的のひとつでもある国際親善交流の機会として、日本文化に興味を持ち地元アテネで日本語を勉強されているの方々との交流会「日本語の集い」を開催した。交流会では地元からの参加者が順番に「なぜ日本語に興味を持ったのか」、「日本について一番関心のあるもの」、「今後日本とどのように関わって行きたいか」など様々なテーマについて日本語でスピーチを行い、参加者一同興味深く聞き入った。スピーチの後は質問タイムとなり、日本とギリシャの違いや、アニメや漫画といったサブカルチャーなどの話題も出て、あっという間に1時間30分が過ぎ去った。最後は日本からの参加団体の代表者が地元の方々へスピーチの感想やメッセージをお伝えし、日本から持参したお土産を贈呈して交流会「日本語の集い」は終了した。

アテネナイト

日時 11月21日(木)・25日(月)・28日(木)

場所 ザピオン国際展示場

今回ご参加いただいた西日本友好親善訪問団の参加者に感謝の意を表するとともに、地元とのより一層の親善交流を図るため、かつて1896年の第1回近代オリンピックのフェンシング競技が行われ、現在は会議場や展示場として利用されている「ザピオン国際展示場」にて夕食会「アテネナイト」を開催。日本側は21日と28日が鈴木誠一氏/株式会社日本旅行執行役員西日本営業本部長、25日が堀坂明弘氏/株式会社日本旅行代表取締役社長、鶴保庸介氏/公益財団法人国際親善協会顧問・参議院議員、ギリシャ側は21日と28日がディモス・ヴラツァノス氏/ギリシャ日本協会会長、25日が清水康弘氏/在ギリシャ日本国大使館特命全権大使、ニコラオス・マクロプロス氏/アテネ市副市長のご挨拶でアテネナイトが開始。参加者の皆様にはコース料理をご堪能いただく一方、食事の合間には地元の民族舞踊グループ『ドラストラドゥ』がギリシャ伝統のフォークダンスを民族音楽の演奏とともに披露し、会場の雰囲気を盛り上げた。そして夕食会「アテネナイト」は盛況のうちにおひらきの時間となった。



編集後記

ジャパンウィーク開催にあたり、在ギリシャ日本国大使館、アテネ市、多くの現地関係者の皆様にご理解いただき、ご尽力を賜りました事、厚く御礼申し上げます。また、準備・運営においては現地コーディネーター、日本人会、多くのボランティアの皆様のご協力に対して深く感謝申し上げます。

最後に特別協賛を賜りましたスポンサー各社、アテネ開催誘致よりご尽力いただいたブラツァノス氏をはじめギリシャ日本協会の皆様にも深く感謝申し上げます。本イベントが多くの皆様に支えられ無事開催出来ました事、すべての関係者の皆様に主催者として重ねて厚く御礼申し上げます。

特別協賛



NISSAN





助 成



公益財団法人 双日国際交流財団

主 催



公益財団法人 国際親善協会

〒112-0003 東京都文京区春日 2-10-15 志知ビル 4 階
TEL : 03-5802-0351 FAX : 03-5802-0353

E-mail info@iffjapan.or.jp

URL <http://www.iffjapan.or.jp>